

遠隔散水装置

Submersible Techno Solution

水中技術で課題解決に挑戦する

用途：解体工事現場での粉じん防止

動画



特長

- 小型軽量で持ち運び可能
- 送信機一個で5台まで切替えて操作可能
- 散水作業者を遠隔に置くことにより、重機との衝突事故を避けられる
- 作業進捗状況を把握できることにより、効率的に散水が行える
- 粉じん等による作業者保護（粉じん被害保護）ができる
- 重機操縦者による散水作業ができる
- 解体コストを削減できる

製品市場の現状

粉じん対策が、必要な土木現場として、建物の解体現場があります。

解体中に発生する粉じんを抑えるために散水を行い粉じんが舞い上がらないように工事を進めます。

通常は、散水作業者が散水ノズルを持って行います。

しかしながら、散水作業は解体物や重機を避けて移動しながらの作業になるため、常に周りの状況判断を必要とします。危険と隣り合わせの作業です。

労働災害がいつ起きてもおかしくない現場です。

- ・ 重機が予想できない動作での散水作業者への衝突事故（人身災害）
- ・ 解体物の予想外な飛散による、散水作業者への衝突事故（人身災害）

重労働と危険との隣り合わせの作業環境の改善を提案します。



仕様

電 源	単相100V
最大左右調整角	80度
最大上下調整角	80度
吸込み口径	25mm
寸 法 縦×横×高さ	395×364×714mm
質 量	18kg

Sakuragawa

<http://www.sakura-p.net>